

「高山市民の森 森林教室」 実施報告書

(観察ウオーキングとウッドプレート作り)

- 1 実施日時 平成29年6月11日(日)、10時から14時半まで
- 2 参加講師名 青野、井上、内野、大石、越智、小久保、小嶋、杉山、
高橋、早川、矢下
主担当 越智、高橋
- 3 参加者 4家族13人(うち、大人 7人、子ども 6人)

4 概要

- ・申込み5家族(17名)、当日キャンセル1家族(4名)。参加家族数に対してインストラクター数が多かったため、1家族あたり2名以上の講師がついた。参加者は説明の聞きやすさや安全面でラッキーと言える。散策開始前にストレッチを行い出発した。コースは各講師が決定した。曇っていて頂上からの展望はよくないと思われ、頂上行きはやめて高山の池とその先の展望所あたりの散策を行ったグループが多かった。その分、時間的余裕があってゆっくり観察ウオークができたようだ。展望所では大声を出してこだまを体験したグループもあった。
- ・観察したものはグループにもよるが、植物ではマタタビ(花の時期の白い葉)、メグスリノキ、コアジサイ、ヒノキ(葉、実)、ミツマタ(枝ぶり、繊維の強さ)、クロモジ、クサギ、サンショウ(イヌザンショウとの見分け方)、ミズバショウ、ヤブマオ(破裂音を出して遊んだ)、桜(蜜腺)、エゴノキ、クリ(雄花、雌花)、キブシ(実)、ウラジロ(飛行機のように飛ばして遊んだ)、ツルグミ(枝の向き、葉裏の色)、ヤブジラミ、ヒメジョオン、エゴノキ(花)などであった。
- ・味覚体験したものには、クサイチゴ、ヘビイチゴ(クサイチゴとの比較)、モミジイチゴ、ニガイチゴなどがあった。
- ・嗅覚体験したものには、コアジサイ(花)、クロモジ(枝、葉)、クサギ(葉)、サンショウ(葉)などがあった。
- ・生きものでは、ウスバカゲロウの幼虫(蟻地獄)、アワフキムシ、モリアオガエル(卵塊、オタマジャクシ、親ガエル)、スジグロシロチョウ、オトシブミ、ガガンボなどが観られた。虫に興味のある子どもが多かったが、曇天のせいもあって虫は少なかった。
- ・午後の部のウッドプレート作りでは、自然の材料でのもの作りを楽しみ、出来上がったときの達成感を味わってもらえたことが参加者の表情から窺えた。
- ・市の担当の挨拶や次回の森林教室の内容紹介などを行った後14時半頃解散した。

(記録 高橋健三)



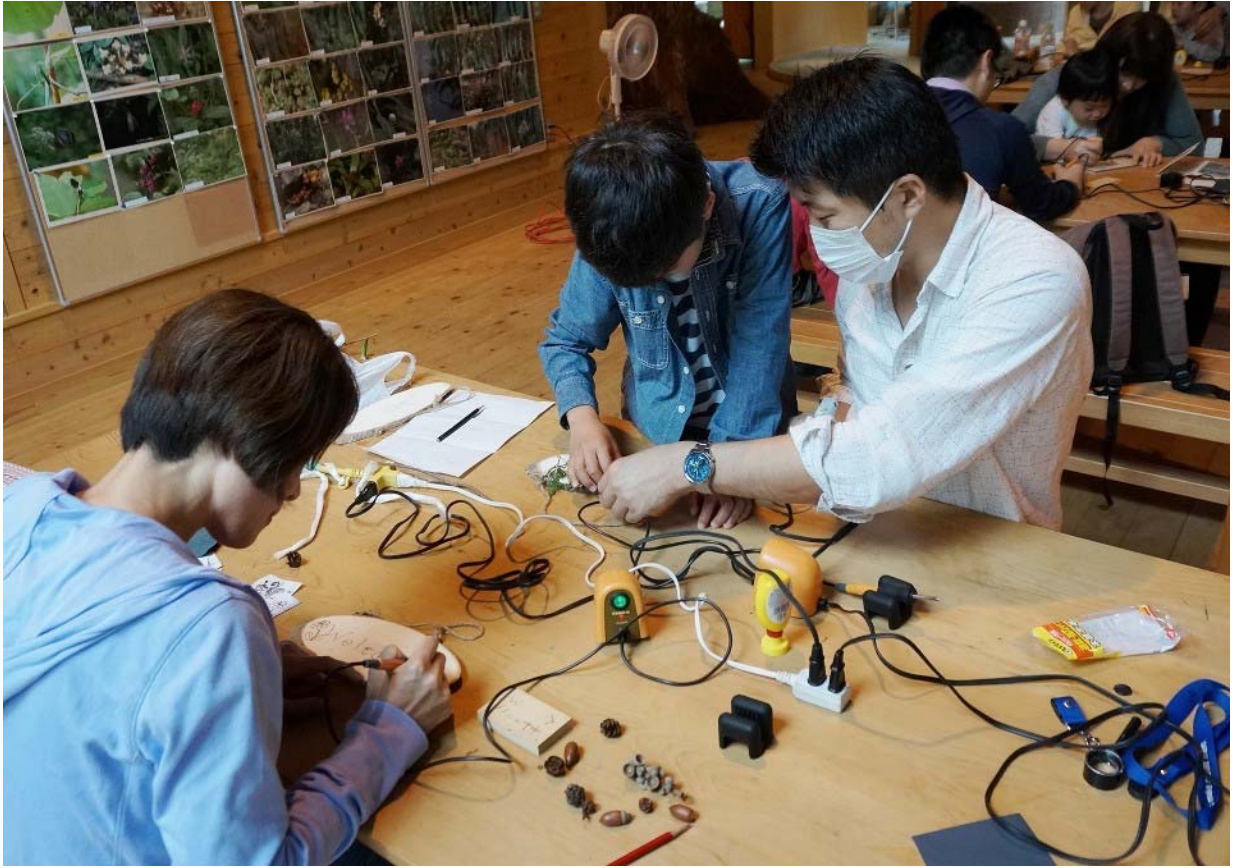
高山の池で



中間展望台で



蟻地獄探し



ウッドプレートづくり



クラフト完成